(1面)		平成24年度事務事業評価シート 平成 24 年 6 月 22 日作										
事務事業	■サービス部門 日本 授 部 開 経企-13 都市提携事業											
No./名 称	口支 援 部											
	秘書広報課(文化推進課) 関連課											
分野名	多文化共生	社会										
目標 (目標値)	人権を尊重し	し、人との	D出会いを大切	にするまち								
人口等の	データ区分		23年度	2	22年度			21年度		備 考		
データ	人口		77,204人		177,161人			176,669人		・各年4月		
	世帯数		9,217世帯	78,	78,812世帯			78,131世帯	ŧ	(住民基	本台帳)	,
	事業の対象者数											
運営資源	決算値(千円)		286		489			1,862				
状 況	(国・県)											
	(負担金等)			_	120			1 000				
	(一般財源)		286	 	489			1,862				
	人員配置数		0.5	0.5			0.7					
	人件費(千円)	宝	4,380 (·協力団体連絡会	4,408 国際交流·協力団体連絡会			6,517 国際交流·協力団体連絡会					
	協働のパートナー	国际文 加	,一肠刀凹冲建船云	国际文加	国际父流 肠刀凹体建裕会			文训"励力四?				
事務事業	総事業費(千円)		4.666	4,897			8,577					
運営経費	市民1人当						40					
	りの経費(円)		26		28			49	<u>.</u>			
	対象者1人			T								
	当りの経費(円)						<u> </u>					
ベンチマーク	団体名⇒			<u>'</u>		Ţ						
(県内外自治体												
や民間団体と												
の比較値)												
• • •	標	評価	年度	21年度	22年	度	23年度		24年度		最終年	F度(年度)
鎌倉市パートナーシティ制		一 1示 但						1	1			1
度による都市提携の推進 ⑤目標を達成 〇目標に向かって前 進		Δ	実績値				0					
評価のポイント												
評価の視点	①効率性	事業費や	人件費に削減余地	はないか。		②妥当付		事業の目的と政策な根拠や公的関-		が整合して	こいるか。法的	
計画の税点	③有効性	事業の成場場合影響が	果が得られているか があるか。	♪。事業を休止・「	廃止した	④公平	性	受益機会が偏って	ていないか。受益者負担は公平・公正か。			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

十字末に占よれるが,字末の計画(旧加于水砂	が入る大田												
小事業名	H23決算値	評価		適切=〇、	要引	女善=△(評値	西の視点を参!	照)	⇒	方向性		€•拡大 B:₹ 含縮小 E:廃		∶改善・見直し
	286千円	①効率性	0	②妥当性	0	③有効性(④公平性	0	⇒	□A	■B	□с	□D	□E
都市提携事業	事業の概要	流を推進す	る。		. –		る市民に対し も提携として							がら、都市間交 推進する。
		①効率性		②妥当性		③有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□с	□D	□E
	事業の概要													
		①効率性		②妥当性		③有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要													
		①効率性		②妥当性		③有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要													
		①効率性		②妥当性		③有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要													

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	・市民団体が行う国際交流事業等に奨励金を交付するため、鎌倉市国際交流事業等奨励金交付要綱を制定した。この要綱に基づく運用を行う。・市民を主体とする都市交流制度を創設し、市民間の都市交流を推進する。
課題解決のための取組	・制定した奨励金交付要綱について、周知に努めた。 ・パートナーシティ制度を創設した。
未解決の課題	・奨励金の交付を通じた国際交流事業等の推進を進めるべきところ、平成23年度については申請実績がなかった。 ・パートナーシティ制度の申請実績がなかったため、今後実際に申請がなされた場合の事務処理について検討する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

	適切=〇	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直UD:統合縮小 E:扇	※口事業完了	
	要改善=ム (評価の視点 を参照)	②妥当性	0	今後の	市民主体の交流を推進していくためのツールとしての奨励	1	課長等名
中事業の計画		③有効性	0	方向性	金活用等について今後も周知に努めていく。また、市民レベルの国際交流を図るために創設したパートナーシティー制度による都市提携を推進していく。		秘書広報課長
		④公平性	0			Ь	奈須 菊夫

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

(2回) 個別事			No. 2 (1) 10 (2)				(単位:十円)
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評	' 価結果
		736	都市交流推進委員会委員謝礼	216	72	■適切	□見直し余地あり
			都市交流事業協力謝礼	20		■適切	□見直し余地あり
			都市交流事業等奨励金	350		■適切	□見直し余地あり
			筆耕翻訳料	171		■適切	□見直し余地あり
	主な個		全国足利氏ゆかりの会負担金	30		■適切	□見直し余地あり
	な個	700					
	1個別						
都市提携事業	事						
	業						
-						口適切	□見直し余地あり
						口旭切	口元直し示地のう
	主						
	主なに						
	個別						
	別事						
	争業						
	~						
						口適切	□見直し余地あり
	主な個別						
	は個						
	別						
	事						
	業						
						□適切	ㅁᄆᅔᆝᄼᄴᇵᆝ
						口迴切	□見直し余地あり
	主						
	主な個別事業						
	個						
	別事						
	業						
	-1.						
						口適切	□見直し余地あり
	.						
	土か						
	主な個別事						
	別						
	事						
	業						
<u> </u>							